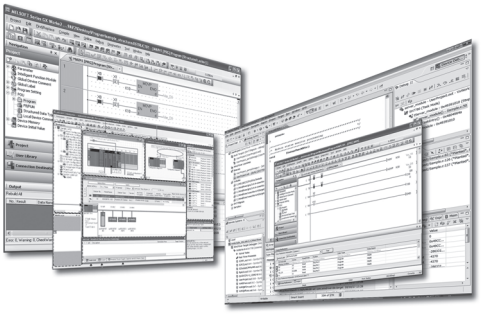
MELSOFT

MITSUBISHI ELECTRIC

エンジニアリングソフトウェア

PX Developer Version 1 オペレーティングマニュアル （InTouch連携編）

-SW1D5C-FBDQ-J
-SW1D5C-FBDQMON-J



● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

この「安全上のご注意」では，安全注意事項のランクを「⚠警告」，「⚠注意」として区分してあります。

⚠警告	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損傷だけの発生が想定される場合。

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【立上げ・保守時の注意事項】

⚠注意
● オンライン操作では，マニュアルを熟読し，十分に安全を確認してから行ってください。 操作ミスによる機械の破損や事故の原因になります。

A－1

● 製品の適用について ●

(1) 当社シーケンサをご使用いただくにあたりましては，万一シーケンサに故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること，および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

(2) 当社シーケンサは，一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがいまして，以下のような機器・システムなどの特殊用途へのご使用については，当社シーケンサの適用を除外させていただきます。万一使用された場合は当社として当社シーケンサの品質，性能，安全に関る一切の責任（債務不履行責任，瑕疵担保責任，品質保証責任，不法行為責任，製造物責任を含むがそれらに限定されない）を負わないものとさせていただきます。

・ 各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途
・ 鉄道各社殿および官公庁殿など，特別な品質保証体制の構築を当社にご要求になる用途
・ 航空宇宙，医療，鉄道，燃焼・燃料装置，乗用移動体，有人搬送装置，娯楽機械，安全機械など生命，身体，財産に大きな影響が予測される用途

ただし，上記の用途であっても，具体的に使途を限定すること，特別な品質（一般仕様を超えた品質等）をご要求されないこと等を条件に，当社の判断にて当社シーケンサの適用可とする場合もございますので，詳細につきましては当社窓口へご相談ください。

A - 2

改 訂 履 歴

※取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

印刷日付	※取扱説明書番号	改　訂　内　容
2008年 1月	SH(名)-080747-A	初版印刷
2008年10月	SH(名)-080747-B	一部修正・追加 総称・略称・用語について，3.4節
2009年 1月	SH(名)-080747-C	一部修正・追加 2.1節，3.4節
2009年 6月	SH(名)-080747-D	一部修正・追加 2.1節，3.4節
2010年 2月	SH(名)-080747-E	本マニュアルのマニュアル名称を，SCADA連携編からInTouch連携編に変更しました。 新規追加 製品の適用について 一部修正・追加 安全上のご注意，付2
2010年 5月	SH(名)-080747-F	一部修正・追加 2.3節
2010年10月	SH(名)-080747-G	一部修正・追加 2.3節
2010年12月	SH(名)-080747-H	一部修正・追加 総称・略称・用語について
2011年 3月	SH(名)-080747-I	新規追加 付4 一部修正・追加 3.4節，第4章
2011年 7月	SH(名)-080747-J	新規追加 付5 一部修正・追加 2.3節，付2，付3.1，付3.2
2012年 1月	SH(名)-080747-K	一部修正・追加 付2
2013年 5月	SH(名)-080747-L	一部修正・追加 3.4節，付3.2
2014年 4月	SH(名)-080747-M	表紙改訂
2015年 7月	SH(名)-080747-N	表紙改訂

A - 3

印刷日付	※取扱説明書番号	改　訂　内　容
2015年10月	SH(名)-080747-O	一部修正・追加 総称・略称・用語について，2.1節，2.3節

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

© 2008 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

は　じ　め　に

このたびは，三菱統合FAソフトウェアMELSOFTシリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用前に本書をよくお読みいただき，MELSOFTシリーズの機能・性能を十分ご理解のうえ，正しくご使用くださるようお願いいたします。

目　　次

安全上のご注意 A- 1
製品の適用について A- 2
改訂履歴 A- 3
はじめに A- 5
目　　次 A- 5
マニュアルについて A- 7
マニュアルの見方 A- 8
マニュアル構成 A- 10
総称・略称・用語について A- 11

第1章　概　　要　1- 1～1- 4

1.1　概　　要 1- 1
1.2　特　　長 1- 1

第2章　システム構成　2- 1～2- 2

2.1　システム構成 2- 1
2.2　ソフトウェア構成 2- 2
2.3　動作環境 2- 2

第3章　基本操作　3- 1～3-19

3.1　InTouchで監視するまでの操作手順 3- 1
3.2　InTouchでPX Developerの計装タグ名を用いて通信するための操作 3- 2
3.2.1　アクセス名の登録 3- 3
3.2.2　タグソースの定義 3- 4
3.2.3　タグ名の参照・選択 3- 8
3.3　InTouchでPX Developerのフェースプレートを利用するための操作 3-10
3.3.1　ActiveXコントロールのインストール 3-11
3.3.2　インストールの確認 3-12
3.3.3　フェースプレートコントロールの貼付け・設定 3-13
3.4　InTouchのアラームビューコントロールにPX Developerのアラーム情報を表示するための操作 3-14
3.4.1　アラームビューコントロールの貼付け 3-17
3.4.2　アラームクエリーの設定 3-18

第4章　トラブルシューティング　4- 1～4- 3

付　録　付- 1～付-11

付1　タグ名参照機能におけるドットフィールド名の詳細・・・

マニュアルについて

本製品に関連するマニュアルには，下記のものがあります。
必要に応じて本表を参考にしてご依頼ください。

関連マニュアル

マニュアル名称	マニュアル番号 （形名コード）	標準価格
PX Developer オペレーティングマニュアル（プログラミングツール編） PX DeveloperによるFBD言語プログラミング，コンパイル，オンライン操作，デバッグ方法について説明しています。（別売）	SH-080259 (13JV57)	¥3000
PX Developer オペレーティングマニュアル（モニタツール編） モニタツールの操作方法や，タグFBによるDDC処理の監視・制御の方法について説明しています。（別売）	SH-080260 (13JV58)	¥3000
PX Developer プログラミングマニュアル PX Developerによるプログラミングの詳細，FB部品の一覧，PID命令について，説明しています。（別売）	SH-080261 (13JC08)	¥4000

ご 注 意

■弊社が紹介するMicrosoft® Windows® Operating System対応の市販ソフトウェア製品について，各製品に対する保証は致しませんので，ご了承願います。
■本製品のソフトウェアの著作権は，三菱電機株式会社にあります。
■本書の内容の一部または全部を当社に断りなく，いかなる形でも転載または複製することは，固くお断りします。
■本書の記述内容は，ソフトウェア，ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが，やむなく同期できない場合も生じます。
■本製品のソフトウェアは，コンピュータ1台につき1セット購入またはライセンス購入が原則となっております。
■本製品（マニュアル含む）は，ソフトウェア使用契約のもとでのみ使用することができます。
■本製品（マニュアル含む）を運用した結果の影響については，一切責任を負いかねますのでご了承ください。
■本マニュアルに記載されている内容は，お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

A - 7

マニュアルの見方

目的

各章，節，項で説明する操作の目的です。

InTouch WindowMakerで設定

操作手順を説明します。

3.2　InTouchでPX Developerの計装タグ名を用いて通信するための操作

目 的

InTouchで，PX Developerで定義した計装タグ名を用いてタグ変数登録を行い，モニタツールの計装タグのデータを読み書きできます。

InTouch WindowMakerで設定

手順①　PX Developerモニタツールとの通信用のアクセス名を登録する（3.2.1項）*1

↓

手順②　タグ変数を作成する（3.2.2項）

↓

手順③　タグブラウザでタグソースを定義する（3.2.2項）*1

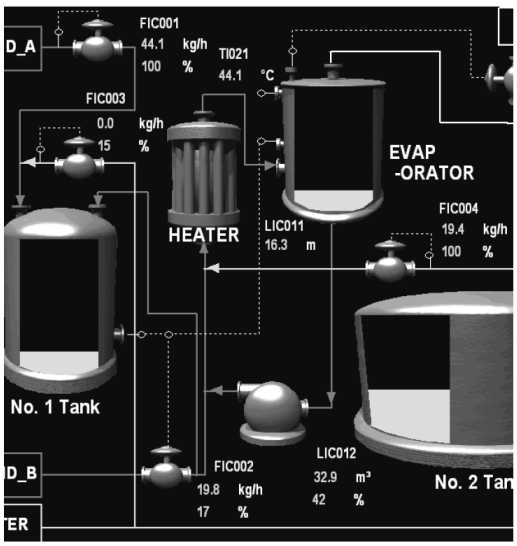
↓

手順④　タグブラウザでタグ名を参照・選択する（3.2.3項）

*1：InTouchアプリケーション単位で初回のみ必要な手順です。

InTouch WindowMakerで実行

モニタツールを起動した状態でWindowViewerを実行することで，計装タグのデータの読み書きができるようになります。



＜InTouch WindowViewerのモニタ画面例＞

InTouch WindowViewerで実行

実行する機能を説明します。

A－8

他に次の種類の説明があります。

基本操作

操作方法を説明します。

表示／設定画面

目的のために設定や表示をする画面です。

表示／設定内容

表示／設定画面の項目を説明します。

Point

その章，節，項で説明した内容の，特に注意する事項や，知っておきたい機能などを説明します。

本マニュアルで使用する記号とその内容を説明します。

記　号	内　容
[　]	ウィンドウやダイアログボックスの項目名，およびメニューバーのメニュー名を表します。 [　]→[　]はドロップダウンメニューを表します。 例：[システム]→[設定]
(　)	対応するボタンを表します。 例：“タグソースの定義”ボタン（...）
“　”	コマンドボタン名を表します。 例：“OK”ボタン
《　》	ダイアログボックスのタブを表します。 例：《全般》タブ

A－9

マニュアル構成

本マニュアルは全4章と付録から構成されています。

本マニュアルは，PX Developerのモニタツールと SCADAソフトウェアとの連携機能の活用を，以下に示す手順で行うことを想定して構成されています。

＜InTouchとの連携機能を活用する手順＞

作業順序1：InTouch WindowMakerでタグ名参照機能を用いて，タグ変数にPX Developerの計装タグを割り当てます。	参照
・アクセス名を設定します。	3.2節
・タグ名を参照し，割り当てます。	

⇩

作業順序2：InTouch WindowMakerで，PX Developerモニタツールのフェースプレートコントロールを貼り付けます。	参照
・ActiveXコントロールをインストールします。	3.3節 ・PX Developer オペレーティングマニュアル（モニタツール編）
・フェースプレートコントロールの貼付け，設定を行います。	

⇩

作業順序3：InTouch WindowMakerで，アラームビューコントロールに，PX Developerモニタツールの警報とイベント情報を表示させるための設定を行います。	参照
・アラームビューコントロールの貼付け，設定を行います。	3.4.1項

⇩

作業順序4：InTouch WindowViewerを実行します。

※InTouchの操作手順，設定項目等については，InTouchのマニュアルを参照してください。

A - 10

総称・略称・用語について

本マニュアルで使用する総称，略称および用語を以下に示します。

(1) 総称・略称

総称／略称	内　容
PX Developer	PX Developer Version 1(SW1D5C-FBDQ-J)とPX Developerモニタツール Version 1 (SW1DNC-FBDQMON-J)の総称。 PX Developer Version 1では，プログラミングツールとモニタツールがインストールされる。 PX Developerモニタツール Version 1では，モニタツールのみがインストールされる。
プログラミングツール	PX Developer プログラミングツールの略称。
モニタツール	PX Developer モニタツールの略称。
OPS	Operator Stationの略称。
サーバ	複数台のOPSと連携するサーバ／クライアント監視システムで構成され，サーバとして起動されるモニタツールの略称。
クライアント	複数台のOPSと連携するサーバ／クライアント監視システムで構成され，クライアントとして起動されるモニタツールの略称。
InTouch	Wonderware® InTouch® Version 10.0および10.1の略称。
Windows Vista®	Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System, Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System, Microsoft® Windows Vista® Business Operating System, Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System, Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating Systemの総称。
パソコン	IBM PC/ATおよび互換機のDOS/V対応のパソコンの総称。

(2) 用語

用語	内　容
WindowMaker	InTouchの開発環境。
WindowViewer	InTouchの実行環境。
I/Oサーバ	Wonderware® 用通信ドライバ。
DDE	Dynamic Data Exchangeの略。アプリケーション間で通信を行うためのWindows® 標準の通信プロトコル。
DDC	Direct Digital Controlの略。制御器の機能をディジタル装置で実現している制御のこと。
FB	Function Blockの略。プログラムにおける機能ブロック。
タグ	計装各機器に対して付けられる荷札（タグ）のように，各DDC処理につけられたJIS定義による識別記号。
タグデータ	タグが示すDDC処理に付随するデータ（プロセス条件データ／プロセス状態データ）をまとめたもの。このタグデータにアクセスすることによって，該当するDDCの状態監視や条件設定を行うことができる。
タグデータ項目	タグデータを構成する個々のデータの項目。
タグFB	調節計や表示機器などの機能を持った機能ブロック。内部にタグデータを持つ。
フェースプレート	調節計などを模して表示される計器ウィンドウ。タグデータに対する値の操作が可能。
SV	目標値。
PV	測定値。
MV	操作量。
割付情報データベース	プログラミングツールのコンパイル時に作成される「*.mdb」ファイルを示す。 このファイルには，タグデータやグローバル変数などを格納する変数の割付情報と，CPUユニットのデバイス情報が格納されている。

A - 11

メ　モ

A - 12

第1章　概　　要

1.1　概要

PX Developerモニタツールと InTouch（Wonderware製SCADAソフトウェア）との連携機能を使用することで，モニタツールの基本的な監視機能に加え，InTouchの使い易く優れた開発・監視環境を利用できるようになります。

本機能は，以下の4つの連携機能をサポートします。

(1) フェースプレートコントロールの組込み
(2) 計装タグ名での通信機能
(3) PX Developerのタグ名参照機能
(4) アラーム統合機能

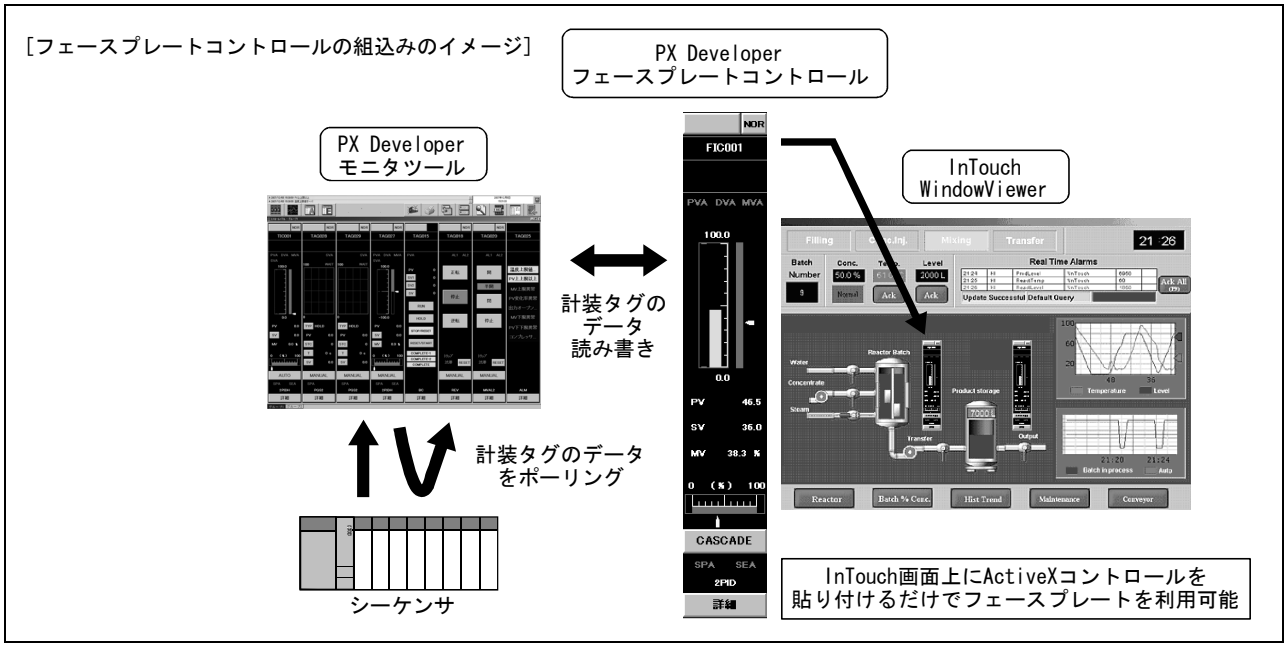
1.2　特長

4つの連携機能の主な特長について，以下に示します。

(1) フェースプレートコントロールの利用で監視画面の開発時間を短縮可能

PX Developerのフェースプレートコントロール（ActiveXコントロール）をInTouchの監視画面に貼り付けるだけで，InTouch上で簡単にフェースプレートを利用できます。

このため，InTouch上での計装タグのデータ監視用画面およびチューニング用画面の開発時間を短縮できます。

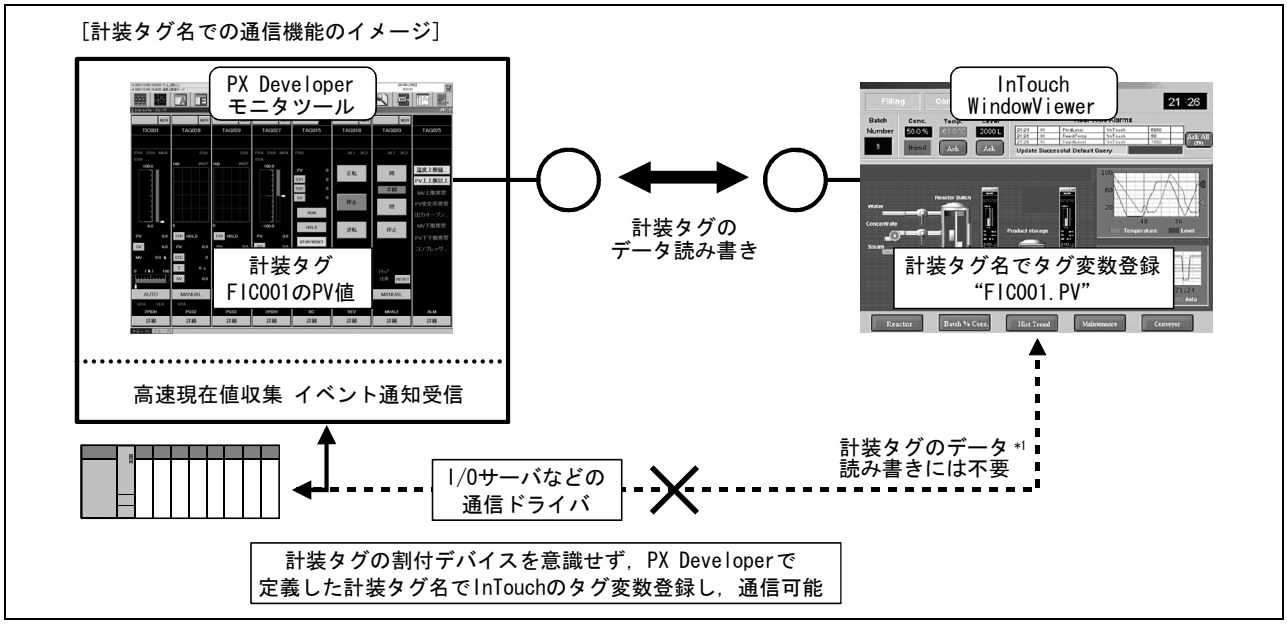


1 - 1

1

(2) 割付デバイスを意識することなくInTouchで計装タグ名を用いて通信可能

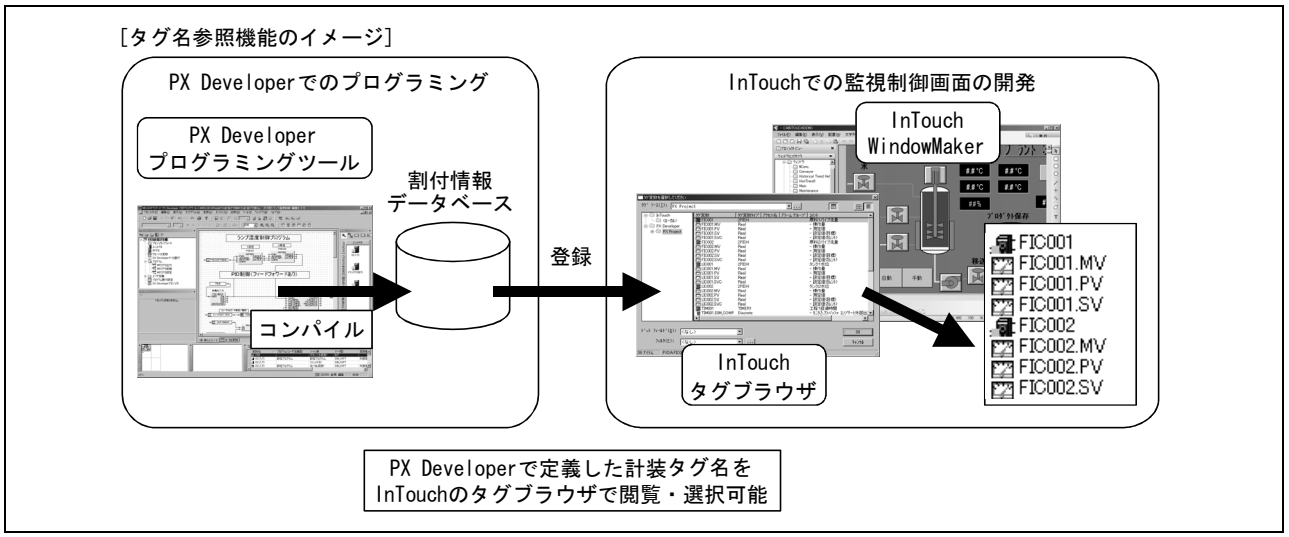
InTouchでタグ変数登録する際に，PX Developerの計装タグ名をアイテム名として用いることができ，InTouch上で，モニタツールの計装タグのデータを読み書きすることができます。したがって，計装タグのデータを読み書きするために，割付デバイスを管理し，I/0サーバなどの通信ドライバを介して通信する必要がありません。
また，モニタツールのイベント通知受信機能や高速現在値収集機能による高速応答性を，InTouch上でも利用できます。



*1：InTouchで計装タグ以外のデバイスデータを読み書きする場合は，I/0サーバなどの通信ドライバが必要となります。

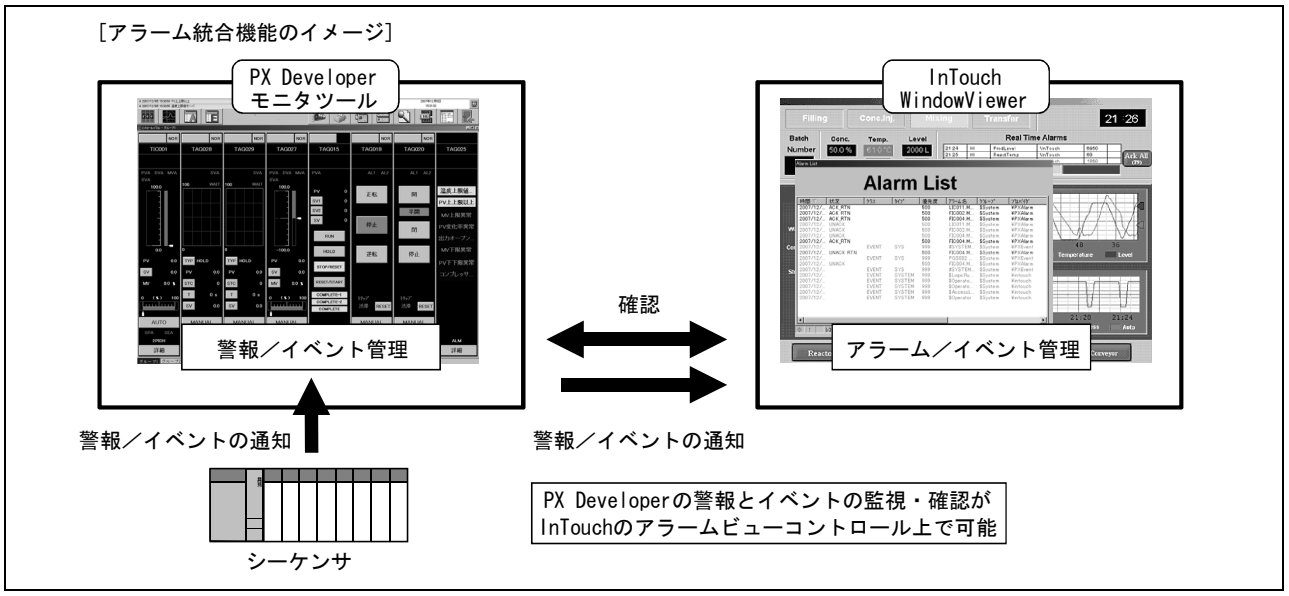
(3) InTouchから簡単に計装タグ名を選択可能

前述の計装タグ名での通信機能を利用する場合，タグ名参照機能を用いることにより，InTouchのタグブラウザでPX Developerの計装タグ名を簡単に閲覧・選択できるため，キータイプの手間やタイプミスを削減でき，作業効率が向上します。



(4) InTouchでPX Developerモニタツールの警報とイベントの監視・確認が可能

アラーム統合機能により，InTouchのアラームビューコントロールに，モニタツールの警報とイベント情報を表示させ，InTouchのアラームとイベント情報と同時系列で監視・確認できます。



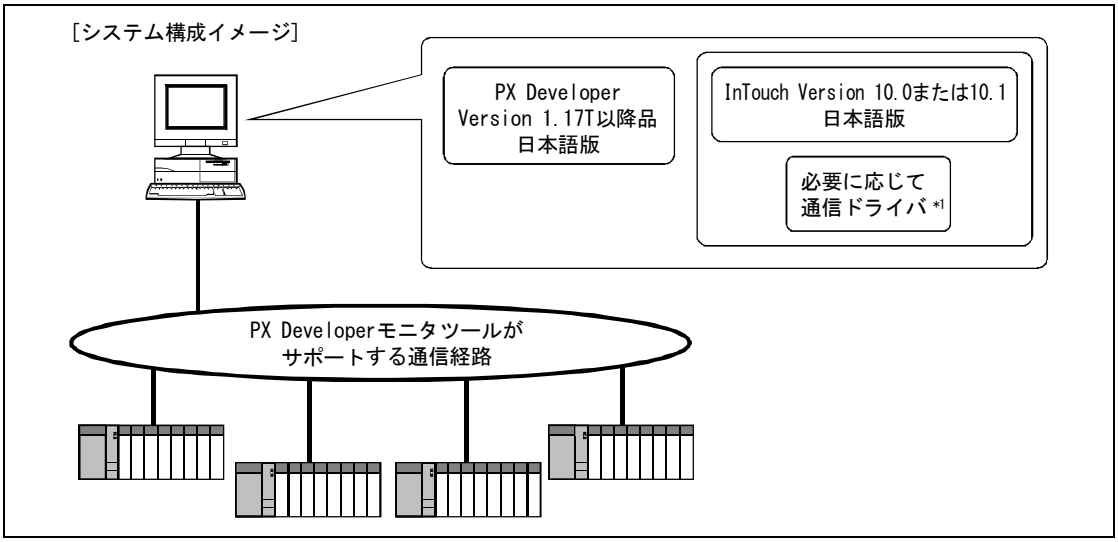
第2章 システム構成

2.1 システム構成

PX DeveloperとInTouchの連携機能を使用する場合のシステム構成について以下に示します。

PX Developerがサポートする通信経路については，「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」の「システム構成」を参照してください。

本連携機能を利用するには，PX DeveloperとInTouchを同一パソコンにインストールしてください。PX DeveloperとInTouchを異なるパソコンで動作させた場合は，本連携機能は使用できません。



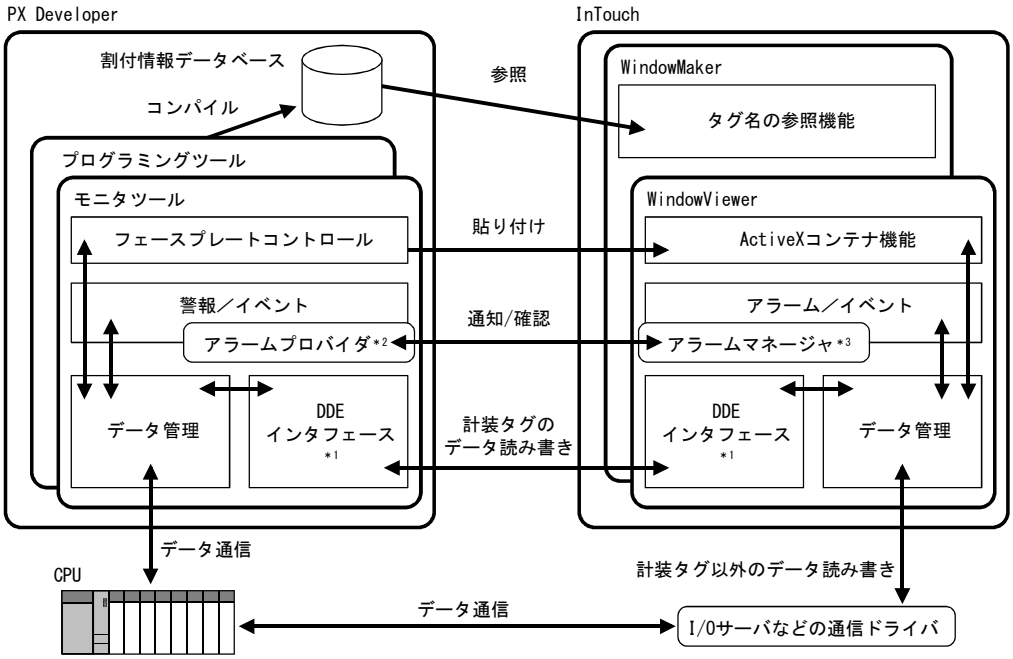
*1：InTouchで計装タグ以外のデバイスデータを読み書きする場合は，I/Oサーバなどの通信ドライバが必要となります。

Point

サーバ／クライアント監視システムを構築している場合，クライアントではアラーム統合機能を利用できません。

2.2 ソフトウェア構成

PX DeveloperとInTouchの連携機能を使用する場合のソフトウェア構成について以下に示します。



＊1：InTouchは，DDEインタフェースを介して，モニタツールの計装タグのデータの読み書きを行います。
＊2：アラームプロバイダとは，Wonderware社が提供するアラーム用の機能で，モニタツールからInTouchのアラームマネージャに対してアラームとイベントの通知・確認，そしてInTouchアラームビューコントロールからモニタツールへの該当アラームの確認要求の受信を可能にする機能です。
＊3：アラームマネージャとは，InTouchのアラームシステムに対して，アラームやイベントの情報を管理するアプリケーションです。

2.3 動作環境

本連携には，PX Developer Version 1.17T以降品，InTouch Version 10.0または10.1が必要です。

PX Developerの動作環境については，「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」の「動作環境」を参照してください。

InTouchの動作環境については，InTouchのインストーラReadMeを参照してください。

なお，本連携機能が動作する基本ソフトウェア(OS)は以下のとおりです。

・Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
・Microsoft® Windows Vista® Business Operating System
・Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System
・Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System
・Microsoft® Windows® 7 Professional Operating System

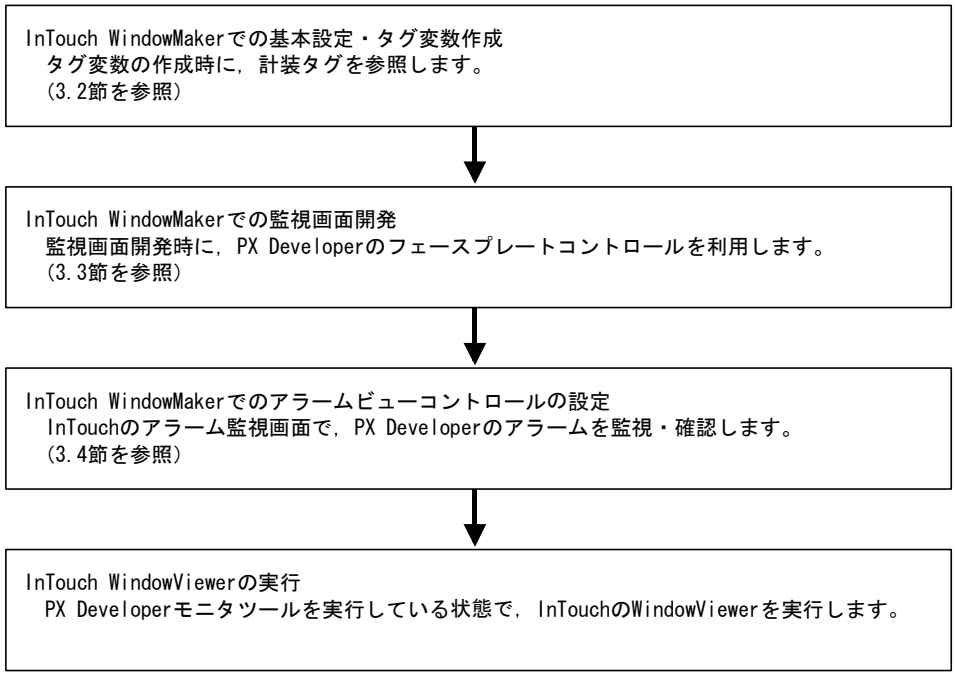
Point

InTouchをWindows Vista® で実行する場合は，Windows Vista® のユーザーアカウント制御（UAC）を無効にする必要があります。

第3章 基本操作

3.1 InTouchで監視するまでの操作手順

InTouchで監視するまでの手順を以下に示します。



Point

- フェースプレートコントロール，計装タグ名での通信，アラーム統合機能を利用してInTouch WindowViewerで監視するには，モニタツールを起動した状態でInTouch WindowViewerを実行する必要があります。
- InTouchの基本操作については，InTouchのマニュアルを参照してください。

3.2 InTouchでPX Developerの計装タグ名を用いて通信するための操作

目 的

InTouchで，PX Developerで定義した計装タグ名を用いてタグ変数登録を行い，モニタツールの計装タグのデータを読み書きできます。

InTouch WindowMakerで設定

手順① PX Developerモニタツールとの通信用のアクセス名を登録する（3.2.1項）*1

↓

手順② タグ変数を作成する（3.2.2項）

↓

手順③ タグブラウザでタグソースを定義する（3.2.2項）*1

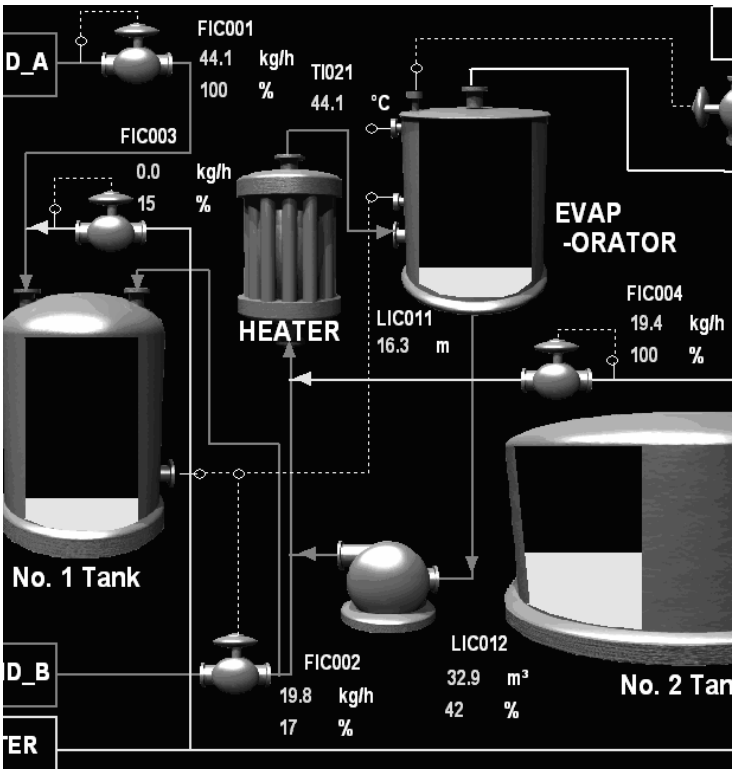
↓

手順④ タグブラウザでタグ名を参照・選択する（3.2.3項）

*1：InTouchアプリケーション単位で初回のみ必要な手順です。

InTouch WindowViewerで実行

モニタツールを起動した状態でWindowViewerを実行することで，計装タグのデータの読み書きができるようになります。

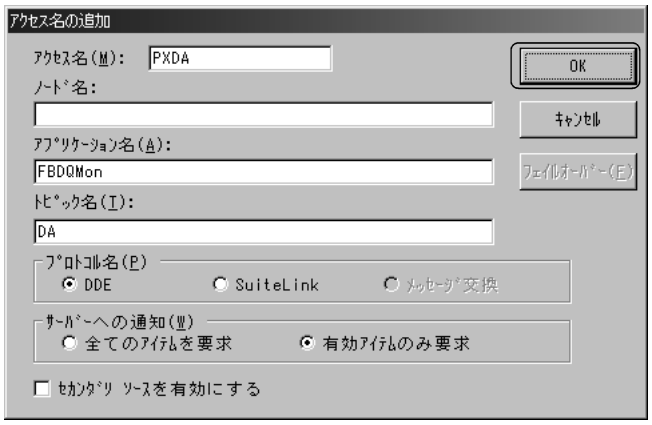


＜InTouch WindowViewerのモニタ画面例＞

3.2.1 アクセス名の登録

基本操作

1. WindowMakerのメニューの[システム]→[アクセス名]をクリックします。
2. アクセス名ダイアログボックスが表示されます。
   “追加”ボタンをクリックします。



3. アクセス名の追加ダイアログボックスが表示されます。
   次の項目を設定し，“OK”ボタンをクリックします。
   - ・アクセス名　　：任意の固有名
   - ・ノード名　　：空欄
   - ・アプリケーション名：FBDQMon
   - ・トピック名　　：DA
   - ・プロトコル名　　：DDE
   - ・サーバーへの通知　：有効アイテムのみ要求
   - ・セカンダリソースを有効にする
     ：チェックなし

   （バックアップサーバを利用する場合はチェックあり）

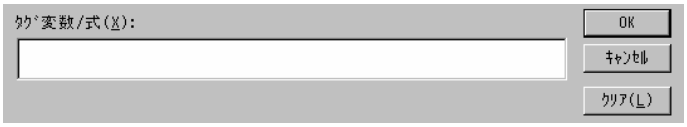
4. アクセス名ダイアログボックスに，設定したアクセス名が追加されているか確認します。

3.2.2 タグソースの定義

(1) タグ変数の作成・タグソースの設定

基本操作

↓



↓

↓

↓

(次のページへ)

1. WindowMaker上で,適当なオブジェクトを作成後,そのオブジェクトをダブルクリック,またはオブジェクトを右クリックし[アニメーションリンク]を選択すると,左記のアニメーションリンク画面が表示されます。
オブジェクトに割り当てたいタグ変数のタイプをクリックします。

2. タグ変数設定画面が表示されます。
[タグ変数/式]の入力欄をダブルクリックします。

3. タグブラウザが表示されます。
“タグソースの定義”ボタン(...)をクリックします。

4. タグソースの一覧ダイアログボックスが表示されます。
“新規”ボタンをクリックします。

3 - 4

（前ページより）

↓

↓

5. タグソースの定義ダイアログボックスが表示されます。
   次の項目を設定し，“参照”ボタンをクリックします。
   ・タグソース名　　：任意の固有名
   ・アクセス名　　：設定したアクセス名
   　　(3.2.1項参照)
   ・タグソースタイプ　：PX Developer

※設定画面の詳細については，本項(2)を参照してください。

↓

6. 参照したいPX Developerプロジェクトの割付情報データベース（プロジェクト名.mdbのファイル）を選択し，“開く”ボタンをクリックします。

↓

7. 設定が完了すると，選択したプロジェクトのパスが指定先欄に格納されます。
   “OK”ボタンをクリックして，タグソースの定義ダイアログボックスを終了します。

8. タグソースの一覧ダイアログボックスに設定したタグソースがあることを確認し，画面を閉じます。

Point

・ 複数のプロジェクトに同じ計装タグ名で宣言されている計装タグをInTouchでタグ変数登録した場合，優先度が一番高い*1プロジェクトの計装タグのデータが読み書きされます。
なお，同一計装タグ名が宣言されているかどうかは，モニタツールのモニタ対象プロジェクト設定画面で確認できます。

＊1：モニタ対象プロジェクト設定で[No.]が小さいほど，優先度は高いことになります。

＜PX Developerモニタツールのモニタ対象プロジェクト設定画面例＞

・ タグ名参照機能には，PX Developer Version 1.02C以降品で作成された割付情報データベースが利用できます。Version 1.01B以前品で作成されている場合は，Version 1.02C以降品のプログラミングツールで変換してください。変換の詳細については，「PX Developer オペレーティングマニュアル(プログラミングツール編)」の「割付情報データベースに関する注意事項」を参照してください。
・ PX Developerをアンインストールする場合は，PX Developerのプロジェクト参照用のタグソースを削除してからアンインストールを行ってください。

(2) タグソースの定義画面の仕様

InTouchのタグソースの定義ダイアログボックスで，[タグソースタイプ]に“PX Developer”を選択した際に表示／設定する項目について以下に示します。

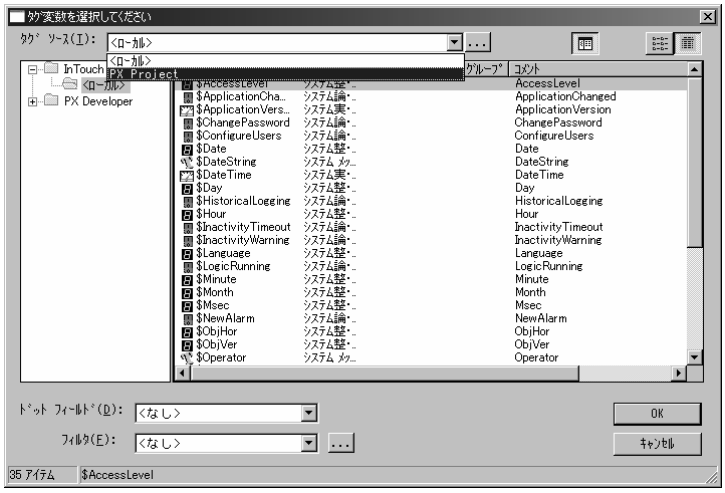
表示／設定画面

表示／設定内容

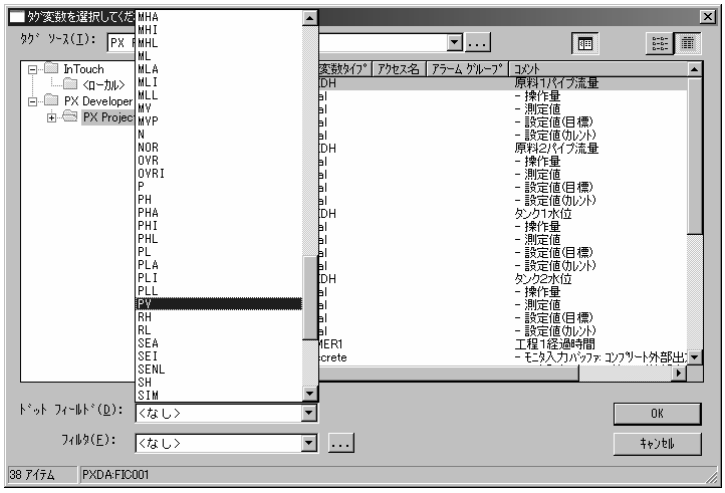
No.	項目	内容	入力制限
①	指定先 エディットボックス	参照するPX Developerプロジェクトの割付情報データベースへの絶対パス（プロジェクトの対象mdbファイルへのパス）を入力します。 ここで指定した割付情報データベースがタグソースとして保存されます。	半角・全角問わず260文字まで入力可能
②	“参照”ボタン	ファイル選択ダイアログボックスを表示します。 ダイアログボックスにて指定したパスは，①に表示されます。	－

3.2.3　タグ名の参照・選択

基 本 操 作



↓



↓

（次のページへ）

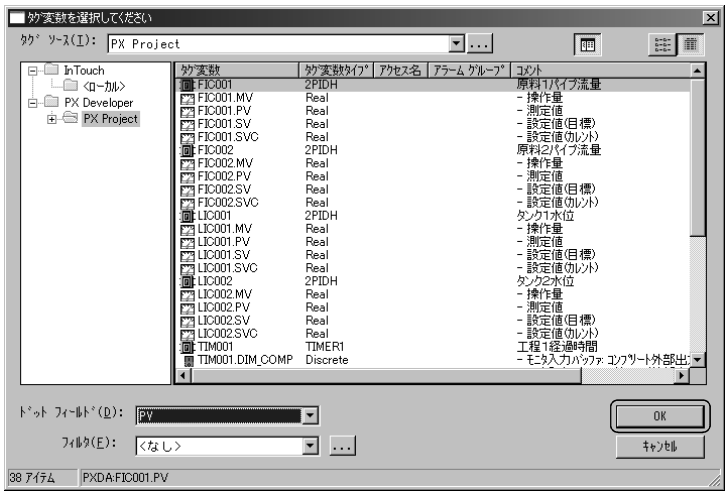
1. タグブラウザの[タグソース]のリストから，設定したタグソースを選択します。

2. 計装タグとその主要なタグ項目（付2を参照）が一覧に表示されます。*1
   主要なタグ項目以外のタグ項目にアクセスしたい場合は，計装タグ名を選択し，[ドットフィールド]から計装タグタイプに合わせたタグ項目を選択します。（付1を参照）

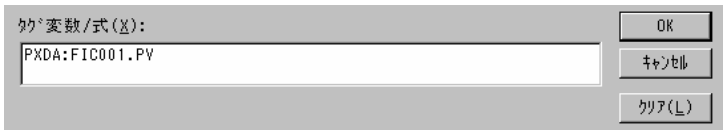
*1：主要なタグ項目のコメントには，“- ”（ハイフン記号と半角スペース）に続いてタグ項目の説明文が表示されます。

（前ページより）

↓



↓



3. 登録するタグ項目を選択し，“OK”ボタンをクリックします。

4. タグ名が，タグ変数設定画面の[タグ変数/式]に自動生成されます。生成されるタグ名は，“アクセス名:計装タグ名.タグ項目”の形式となります。*1

＊1：リモートリファレンスという参照方法です。詳細はInTouchのマニュアルを参照してください。

Point

- InTouch WindowMaker上のタグブラウザでタグソースを選択して一覧を開いた後に，PX Developerプロジェクトのタグ FBの情報を変更しコンパイルし直しても，画面には反映されません。最新のタグFBを参照する場合は，タグソースを選択し直してください。
- タグFB変数名が英数字，またはアンダースコア(_)以外で設定されている場合（タグFB設定では半角カタカナ，全角文字でも設定可），InTouchでは認識できない文字となります。（該当タグはタグブラウザのタグリストに表示されません。）

3.3　InTouchでPX Developerのフェースプレートを利用するための操作

目 的

InTouchで計装監視画面を開発する際に，PX Developerのフェースプレートを利用でき，開発時間を削減できます。

InTouch WindowMakerで設定

手順①　ActiveXコントロールをインストールする（3.3.1項）*1

↓

手順②　ウィザードメニューでインストールを確認する（3.3.2項）

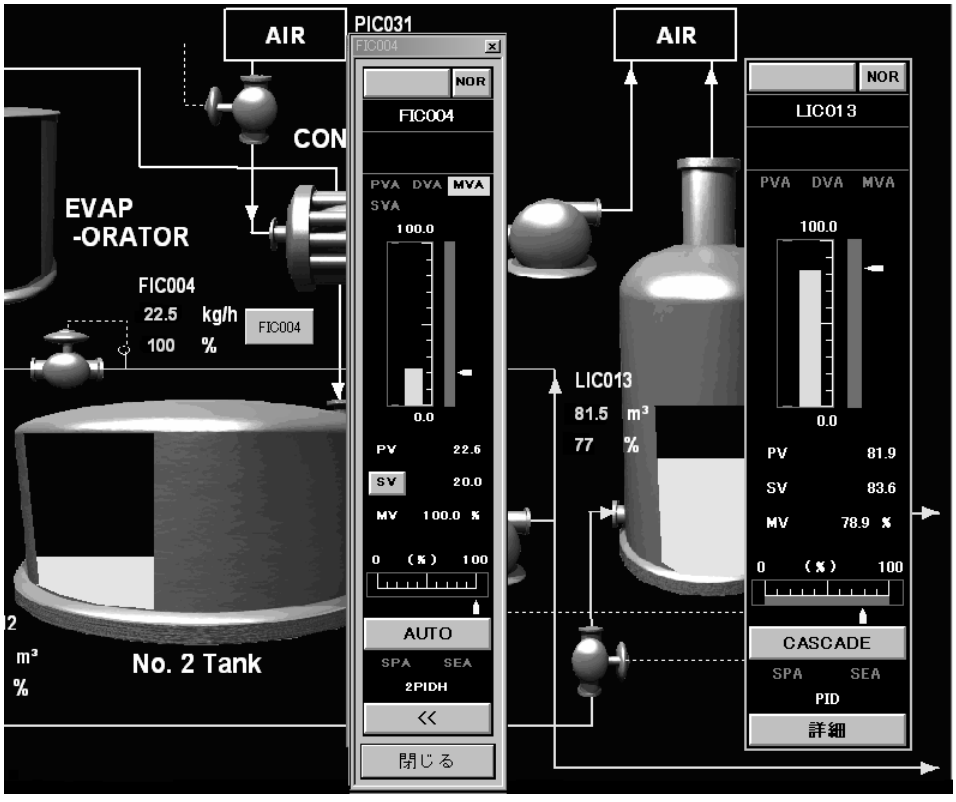
↓

手順③　フェースプレートコントロールの貼付け・設定を行う（3.3.3項）

＊1：InTouchアプリケーション単位で初回のみ必要な手順です。

InTouch WindowViewerで実行

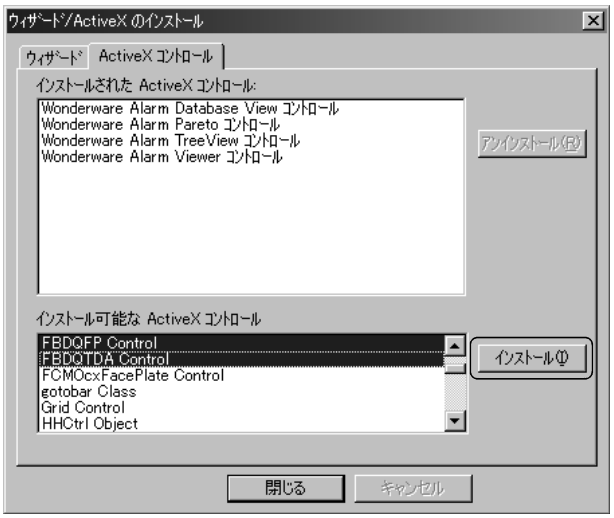
モニタツールを起動した状態でWindowViewerを実行することで，フェースプレートを利用でき，計装データの監視，計装パラメータのチューニングができるようになります。



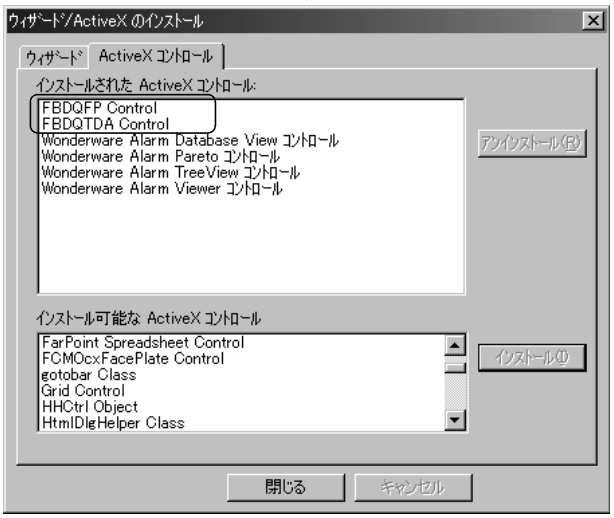
＜InTouch WindowViewerのフェースプレートコントロール画面例＞

3.3.1 ActiveXコントロールのインストール

基本操作



↓

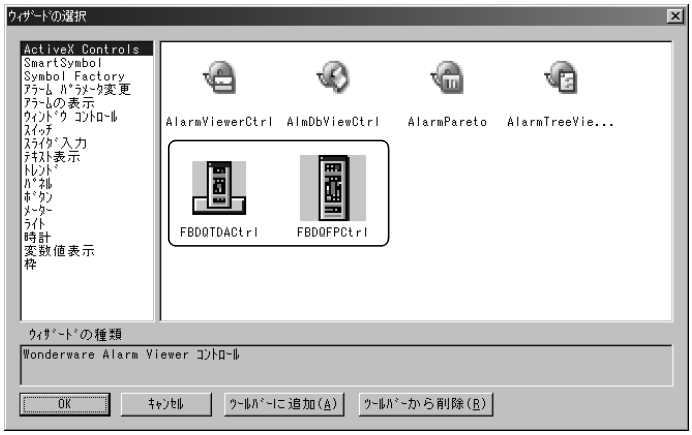


1. WindowMakerのメニューの[システム]→[設定]→[ウィザード/ActiveXのインストール]を選択します。
2. ウィザード/ActiveXのインストールダイアログボックスが表示されます。《ActiveXコントロール》タブをクリックします。
3. [インストール可能なActiveXコントロール]のリストから,「FBDQFP Control」と「FBDQTDA Control」を選択し,“インストール”ボタンをクリックします。
4. インストールが完了すると,[インストールされたActiveXコントロール]のリストに追加されます。

3.3.2 インストールの確認

基本操作

1. WindowMakerの“Wizard”ボタン（）をクリックします。
2. ウィザードの選択ダイアログボックスが表示されます。
   [ActiveX Controls]のリストに，「FBDQTDACtrl」と「FBDQFPCtrl」のアイコンが追加されていることを確認します。



Point

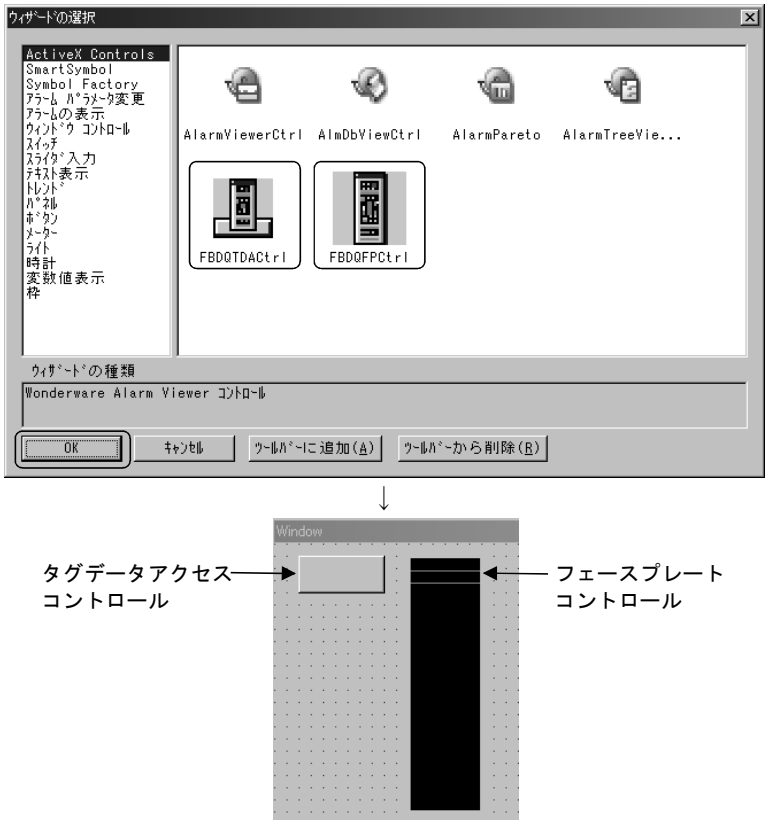
- 「FBDQFPCtrl」はフェースプレートコントロールで直接InTouch画面上に貼り付けられます。
- 「FBDQTDACtrl」は，タグデータアクセスコントロールで，設定した計装タグのデータの読み書きが行えます。また，ボタンクリックで，ポップアップフェースプレート画面を表示できます。

各コントロールの詳細については，「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」の「ActiveXコントロールの制御」を参照してください。

3 - 12

3.3.3 フェースプレートコントロールの貼付け・設定

基 本 操 作



＜InTouch WindowMakerの画面例＞

1. ウィザードの選択ダイアログボックスの[ActiveX Controls]のリストから「FBDQTDACtrl」または「FBDQFPCtrl」を選択し，“OK”ボタンをクリックします。

2. InTouch上で，カーソルが に変化します。任意の場所でクリックしてコントロールを貼り付け，サイズをドラッグで調整します。
3. コントロールをダブルクリックし，プロパティ画面を表示します。

4. 《全般》タブをクリックし，[TagName]にPX Developerの計装タグ名を設定します。
   プロパティの設定内容は，
   「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」を参照してください。

Point

PX Developerをアンインストールした後，InTouchアプリケーションを編集し上書き保存すると，PX Developerを再度インストールした際に，フェースプレートコントロール，タグデータアクセスコントロールの元の設定内容（タグ名称など）が消えてしまうので注意してください。

3 - 13

3.4 InTouchのアラームビューコントロールにPX Developerのアラーム情報を表示するための操作

目 的

InTouchのアラームビューコントロールに，モニタツールの警報とイベント情報を表示させ，InTouchのアラームとイベント情報と同時系列で監視・確認できます。

アラームの概要

【InTouchのサマリアラームと履歴アラームについて】

＜サマリアラーム＞

サマリアラームとは，現在発生中のアラーム，または未確認状態のアラームのレコードが表示されるアラームリストです。サマリアラーム上では，コメントを付加してアラームの確認を行うことができます。

＜履歴アラーム＞

履歴アラームとは，過去のアラームの発生・復旧・確認のレコードと，イベントの発生レコードが表示されるアラームリストです。履歴アラーム上では，アラームの確認操作はありません。

InTouch WindowMakerで設定

手順① アラームビューコントロールを貼り付ける（3.4.1項）

↓

手順② アラームビューコントロールのアラームクエリーを設定する（3.4.2項）

InTouch WindowViewerで実行

モニタツールを起動した状態で，InTouchのWindowViewerを実行することで，PX DeveloperのアラームをInTouchのアラームビューコントロールで監視・確認することができます。アラームビューコントロールのタイプがサマリアラームの場合はアラーム情報のみ，履歴アラームの場合はアラーム情報とイベント情報が監視できます。

Point

- PX Developer用に確保されたInTouchの履歴アラームバッファに，アラームは6000件，イベントは2000件以上保存できます。履歴アラーム用のバッファサイズを超えた場合は，蓄積されたアラーム／イベント情報のうち最も古い情報が削除され，最新の情報が追加されます。
- InTouchのアラームビューコントロール上に表示されるPX Developerのアラーム／イベント情報は，モニタツールが実行中に発生したアラーム／イベントのみInTouchに表示されます。そのため，モニタツール起動前のアラーム／イベント履歴は，InTouchのアラームに反映されません。
- モニタツールを終了すると，InTouchのアラームビューコントロールに表示されているPX Developerに関するアラーム／イベント情報は，サマリアラームや履歴アラームからすべて消去されます。モニタツール終了後もInTouchでアラーム情報を表示するためには，事前にAlarmPrinter*1によるアラームのロギング処理や，Alarm DB Logger Manager*1によるデータベース蓄積などの処理を行っておく必要があります
- サーバ／クライアント監視システムを構築している場合，クライアントではアラーム統合機能を利用できません。

＊1：詳細については，InTouchのマニュアルを参照してください。

アラーム／イベントの連動動作について以下に示します。
InTouchの操作方法については，InTouchのマニュアルを参照してください。

(1) アラームの監視画面操作

モニタツールの警報一覧と，InTouchのサマリアラーム画面を以下に示します。

＜PX Developerモニタツールの警報一覧画面例＞

＜InTouch WindowViewerのサマリアラーム画面例＞

InTouchは，モニタツールからのアラーム通知／確認通知を受け取り表示します。
ただし，InTouch自身のシステム警報（SCADA連携機能エラー）に関しては，InTouchに通知されません。

【モニタツールからの操作で，InTouchのアラームに対して連動する動作】

- 「復旧削除」を行うと，対応するInTouchのアラームは削除されます。
- 「一括確認」を行うと，対応するInTouchの全アラームの確認を行います。
- 確認チェックボックスをチェックなし⇒チェックありにすると，対応するInTouchのアラームの確認を行います。
- 確認チェックボックスをチェックあり⇒チェックなしにすると，発生中のアラームの場合はInTouchのアラームが再発生します。
- モニタツールの警報一覧でアラームが2000件を超え，古い警報が削除されるとき，対応するInTouchのアラームがサマリアラームに存在する場合，そのInTouchのアラームも削除されます。

【InTouchからの操作で，モニタツールに対して連動する動作】

- InTouchからアラームの確認を行うと，対応するモニタツールの警報一覧の確認チェックボックスにチェックを入れます。

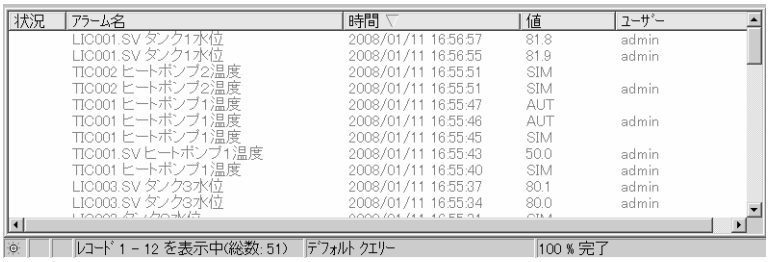
Point

- モニタツールがInTouchに通知するアラーム項目の対応表は，付3.1を参照してください。
- InTouchからモニタツールのアラームの確認を行う場合，モニタツールを操作するユーザに警報／イベントの確認操作の権限が必要です。

(2) イベントの監視画面操作

モニタツールのイベント一覧と，InTouchの履歴アラーム画面を以下に示します。
InTouchでは，履歴アラーム画面にアラームとイベントが表示されます。

＜PX Developerモニタツールのイベント一覧画面例＞



＜InTouch WindowViewerの履歴アラーム画面例＞

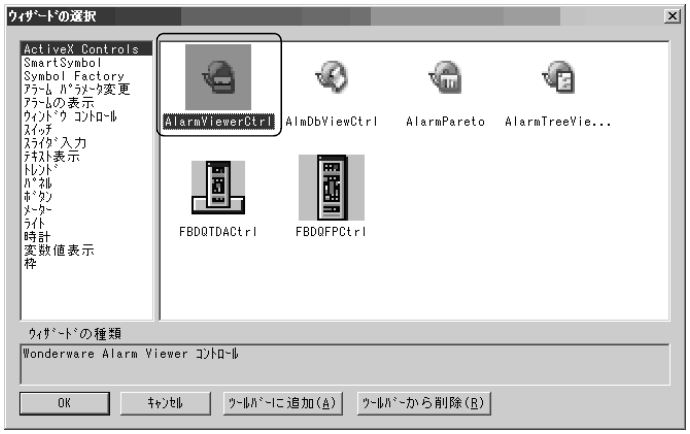
InTouchは，モニタツールからのイベント通知を受け取り表示します。

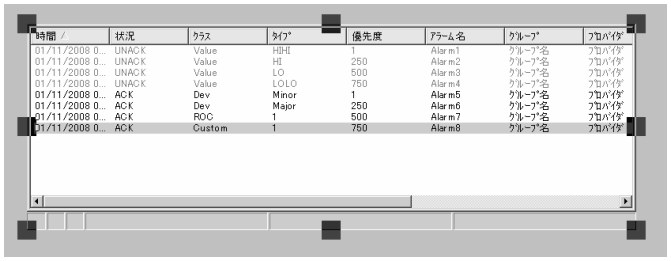
Point

- モニタツールがInTouchに通知するイベント項目の対応表は，付3.2を参照してください。
- モニタツールのイベント一覧画面から，メッセージタグのイベントに対して確認操作を行うことができますが，InTouchの履歴アラームにはメッセージタグのイベントに対する確認は表示されません。

3.4.1　アラームビューコントロールの貼付け

基 本 操 作





＜InTouch WindowMakerの画面例＞

1. WindowMakerの“Wizard”ボタン（ ）をクリックします。
2. ウィザードの選択ダイアログボックスが表示されます。
   [ActiveX Controls]のリストから，「AlarmViewerCtrl」のコントロールを選択し，“OK”ボタンをクリックします。

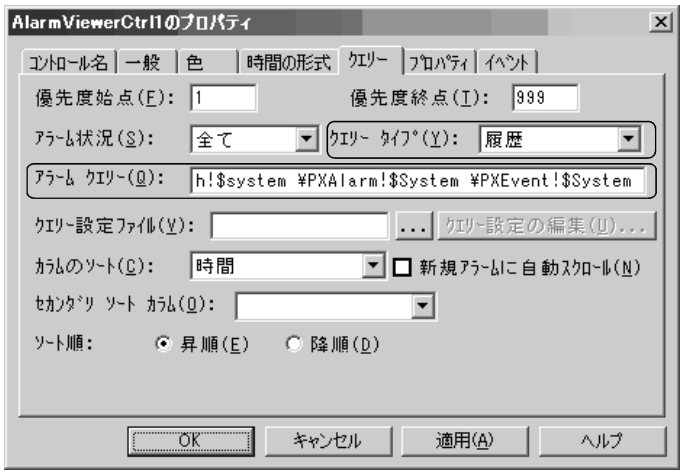
3. InTouch上で，カーソルがに変化します。任意の場所でクリックしてコントロールを貼り付け，サイズをドラッグで調整します。

3.4.2 アラームクエリーの設定

基本操作

1. アラームビューコントロールをダブルクリックし，プロパティ画面を表示します。
2. 《クエリー》タブをクリックし，[アラームクエリー]の項目で，“¥intouch!$system”の後ろに半角スペースを入れ，アラーム情報を統合する場合は“¥PXAlarm!$System”，イベント情報を統合する場合は“¥PXEvent!$System”と記述します。両方記述することでアラーム／イベント情報両方を統合することが可能です。ただし，イベント情報は履歴アラームにのみ格納されます。

＜サマリアラームの設定例＞



＜履歴アラームの設定例＞

統合内容	追加アラームクエリー	有効なクエリータイプ
アラーム	¥PXAlarm!$System	サマリ／履歴どちらでも可
イベント	¥PXEvent!$System	履歴のみ

Point

- 複数のアラームクエリーの項目を登録する場合は，項目間を半角スペースで区切ってください。
- アラームクエリーは大文字・小文字を区別しません。
- WindowMakerのウィザードに含まれる「分散アラーム」でも，アラームクエリーを同様に設定することで，アラーム統合機能を利用できます。詳細については，InTouchのマニュアルを参照してください。

メ　モ

3 - 19

第4章 トラブルシューティング

(1) 計装タグ名での通信機能に関するトラブルシューティング

計装タグ名での通信機能に関して生じる可能性のあるトラブルと，その対応方法および参照先を示します。

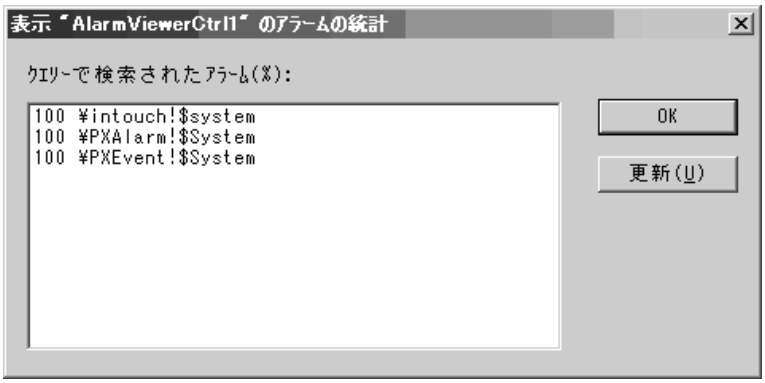
トラブル	原因・対応	参照
WindowViewer実行時, モニタデータが0のまま変化しない	以下の原因が考えられます。 ・InTouchでのタグ変数名／式が正しく設定されていない。 ・モニタツールが起動していない。 ・モニタツールを操作しているユーザにタグデータ項目の変更操作権限がない。 以下の確認と設定を行ってください。 ・タグ変数名/式がアクセス名:計装タグ名.タグ項目という形式になっているか確認してください。 ・アクセス名が正しく設定されているか確認してください。 ・モニタツールの対象プロジェクトに実在する計装タグ名かどうか確認してください。 ・モニタツールが実行されているか確認してください。 ・WindowViewerが実行中に，WindowMakerでタグ変数の変更を行った際は，WindowViewerを再起動してください。 ・モニタツールで計装タグデータ項目の変更操作の権限を持つユーザに切り替えてください。 上記以外については，「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」の「ActiveXコントロールの制御」のエラー一覧，TagNameプロパティ設定時およびItemプロパティ（取得，設定）呼び出し時を参照してください。	3.2節
WindowViewer実行時, PX Developerの計装タグのデータを変更してもモニタデータが変化しない		

(2) フェースプレートコントロールの組込みに関するトラブルシューティング

フェースプレートコントロールの組込み機能に関して生じる可能性のあるトラブルと，その対応方法および参照先については，「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」の「ActiveXコントロールの制御」のエラー一覧を参照してください。

(3) アラーム統合機能に関するトラブルシューティング

アラーム統合機能に関して生じる可能性のあるトラブルと，その対応方法および参照先を示します。

トラブル	原因・対応	参照
WindowViewer実行時， モニタツールのアラームがInTouchのアラームビューコントロールに表示されない	モニタツールが実行されていない，もしくはアラームクエリーの設定が適切でないことが考えられます。以下の確認を行ってください。 WindowViewer上のアラームビューコントロールを右クリックし，[統計]メニューで，アラームクエリーが下図のようになっているか，アラームクエリーが適切かどうか確認してください。 適切であるにもかかわらずアラームクエリーの実行率（下図で100と表示されている部分）が0である場合は，モニタツールが起動しているか確認してください。  ＜InTouch WindowViewerのアラームの統計画面＞	3.4節
WindowViewer実行時， InTouchからモニタツールのアラームの確認を実行しても，反映されない。	モニタツールを操作しているユーザに警報・イベントの確認操作権限がないことが考えられます。以下の設定を行ってください。 モニタツールで警報／イベントの確認操作の権限を持つユーザに切り替えてください。	3.4節

4 - 2

メ　モ

4 - 3

付　録

付1　タグ名参照機能におけるドットフィールド名の詳細

タグブラウザで指定できる計装タグのタグ項目（計装タグ選択時にドットフィールドで指定できるタグ項目）の一覧は，「PX Developerプログラミングマニュアル」の「タグタイプ／タグデータの各種一覧」を参照してください。

PX Developerの各タグ項目のデータ型に対応するInTouchでのデータタイプ，アイコンを以下に示します。

PX Developerでのデータ型	InTouchでのデータタイプ	アイコン
BOOL	Discrete	
INT,DINT WORD,DWORD	Integer	
REAL	Real	
タグFB	－	

付2　主要なタグ項目

タグブラウザにて表示される各計装タグの主要なタグ項目は，現在値収集およびイベント通知を行うタグ項目とします。現在値を収集するタグ項目は以下のとおりです。

タグFB名	現在値収集タグ		タグFB名	現在値収集タグ	
PID,2PID,PIDP, SPI,IPD,BPI, R,ONF2,ONF3	PV	測定値	MWM	PV	測定値
	MV	操作量		MV	操作量
	SV	設定値	SEL	PV	測定値
2PIDH,SWM,PFC_SF, PFC_SS,PFC_INT	PV	測定値		MV	操作量
	MV	操作量		SLNO	選択中No.
	SVC	設定値（カレント）	BC	PV	測定値
	SV	設定値（目標）		SV1	予報値1
PGS	MV	操作量		SV2	予報値2
	SV	設定値		SV	設定値
	TYP	動作タイプ	PSUM	PV	測定値
PGS2	SV	設定値	NREV, REV, MVAL1, MVAL2, PB	DIM	モニタ入力バッファ
	STC	実行中ステップNo.			
	T	ステップ内時間	TIMER1, TIMER2, COUNT1, COUNT2	PV	測定値
	PV	プロセス値		PSV	予報値
	TYP	動作タイプ		SV	設定値
	SVOC	開始点（カレント）		DIM	モニタ入力バッファ
MOUT	MV	操作量	ALM, ALM_64PT, MSG, MSG_64PT	該当する現在値 収集タグなし	
MONI	PV	測定値			
PVAL	PV	電動弁開度	HTCL	MV_HT	加熱側操作量
	SVC	開度設定値（カレント）		MV_CL	冷却側操作量
	SV	開度設定値（目標）		SV	設定値
	VOUT	指令信号出力状態			
	DIM	モニタ入力バッファ			

イベント通知を行うタグ項目は以下のとおりです。

タグFB名	イベント通知タグ		タグFB名	イベント通知タグ	
PID, 2PID, NREV, REV, MVAL1, MVAL2, PGS2, HTCL	MODE*1	モード	BC, PSUM, TIMER1, TIMER2, COUNT1, COUNT2	ALM*1	アラーム
	ALM*1	アラーム		CTNO	札掛けNo.
	CTNO	札掛けNo.		DIM*1	モニタ入力バッファ
	DIM*1	モニタ入力バッファ	PB	MODE*1	モード
2PIDH, SWM, PFC_SF, PFC_SS, PFC_INT, PVAL	MODE*1	モード		CTNO	札掛けNo.
	ALM*1	アラーム		DIM*1	モニタ入力バッファ
	ALM2*1	アラーム2	ALM	ALM*1	アラーム
	CTNO	札掛けNo.	ALM_64PT	ALM_W1*1	アラーム1～16
	DIM*1	モニタ入力バッファ		ALM_W2*1	アラーム17～32
PIDP, SPI, IPD, BPI, R, ONF2, ONF3, MWM, SEL, MOUT, PGS	MODE*1	モード		ALM_W3*1	アラーム33～48
	ALM*1	アラーム		ALM_W4*1	アラーム49～64
	CTNO	札掛けNo.	MSG	MSG*1	メッセージ
MONI	ALM*1	アラーム	MSG_64PT	MSG_W1*1	メッセージ1～16
	CTNO	札掛けNo.		MSG_W2*1	メッセージ17～32
				MSG_W3*1	メッセージ33～48
				MSG_W4*1	メッセージ49～64

*1：本タグ項目は，複数のBOOL型変数で構成されますが，タグブラウザではBOOL型変数として表示されます。

付 - 2

付3　モニタツールとInTouchの項目対応表

付3.1　アラーム項目対応表

モニタツールがInTouchに通知するアラーム項目の対応表を以下に示します。
InTouchのアラーム画面は，アラームビューコントロールのプロパティにて表示名や項目，表示形式などが選択できます。詳細については，InTouchのマニュアルを参照してください。

PX Developerモニタツール		InTouch	
アラーム項目	表現	アラーム項目	表現
確認チェック	ON/OFF	状況	ACK/UNACK
タグ	FIC001	アラーム名*2	書式： “タグ.警報内容 タグコメント”*3 例）FIC001.MHA タンク1水位
タグコメント	タンク1水位		
警報内容*1	MHA		
発生日時	形式はOSの 設定による	時間*4	アラームビューコントロールの 時間の形式設定による
復旧日時			
レベル	軽／重	優先度*5	軽：500，重：100
計測値	100%	値	100%
該当なし		プロバイダ	¥PXAlarm
		グループ	$System
		しきい値	空欄
		クラス	空欄
		タイプ	空欄
		タグコメント	空欄
		ユーザー	空欄
		ユーザードメイン	空欄
		ユーザーノード	空欄
		ユーザーフルネーム	空欄
		アラームコメント	アラーム確認時：確認コメント
		ユーザー1,2	0
		ユーザー3	PX Developerプロジェクト名

＊1：モニタツールのオプション設定の「警報のタグデータ項目表示」に合わせた内容が表示されます。
＊2：常に「項目名」が表示されます。
＊3：タグコメントがない場合は“タグ.警報内容”となります。
＊4：サマリアラームの場合，アラームが発生中であれば発生日時，アラームが復旧すれば復旧日時が表示されます。履歴アラームの場合は，発生／復旧は別レコードで表示されます。
＊5：InTouchのアラームのレベルは優先度1～999で表現され，1に近づくほど優先度が高くなります。

付 - 3

付3.2 イベント項目対応表

モニタツールがInTouchに通知するイベント項目の対応表を以下に示します。

InTouchのアラーム画面は，アラームビューコントロールのプロパティにて表示名や項目，表示形式などが選択できます。詳細については，InTouchのマニュアルを参照してください。

PX Developerモニタツール		InTouch	
イベント項目	表現	イベント項目	表現
確認チェック	ON/OFF	該当なし（状況は空欄）	
タグ	FIC001	アラーム名*2	書式：“タグ.イベントメッセージ タグコメント”*3 例）FIC001.SV バルブ流量
タグコメント	バルブ流量		
イベントメッセージ*1	SV		
発生日時	形式はOSの設定による	時間	アラームビューコントロールの時間の形式設定による
状態*1	CAS	値*2	CAS
設定値*1	90.0		90.0
ユーザ	admin	ユーザー	admin
変更前値*1	80.0	しきい値	空欄
該当なし		プロバイダ	¥PXEvent
		グループ	$System
		クラス	EVENT
		タイプ	“OPR/SYS”*4
		優先度	999
		タグコメント	空欄
		ユーザードメイン	空欄
		ユーザーノード	空欄
		ユーザーフルネーム	空欄
		アラームコメント	空欄
		ユーザー1,2	0
		ユーザー3	PX Developerプロジェクト名

＊1：モニタツールのオプション設定の「イベントのタグデータ項目表示」に合わせた内容が表示されます。

＊2：常に「項目名」が表示されます。

＊3：イベントメッセージのない場合は，“タグ タグコメント”のような形式となります。

＊4：ユーザが設定を変更した場合は“OPR”，状態が変化した場合は“SYS”となります。

付 - 4

付4　モニタツールとInTouchのセキュリティ

モニタツールのユーザ権限機能とInTouchのセキュリティを組み合わせることで，InTouchのグラフィック画面における計装タグの操作に制限を設けることができます。

InTouchでは，ログオンしているユーザのアクセスレベルが$AccessLevelシステムタグ変数に格納されるため，$AccessLevelシステム タグ変数を条件式に使用することで，オブジェクトの「タッチアクション無効化」や「表示オフ／オン」のアクセス制限を設定できます。

InTouchのセキュリティ機能の詳細については，InTouchのマニュアルを参照してください。

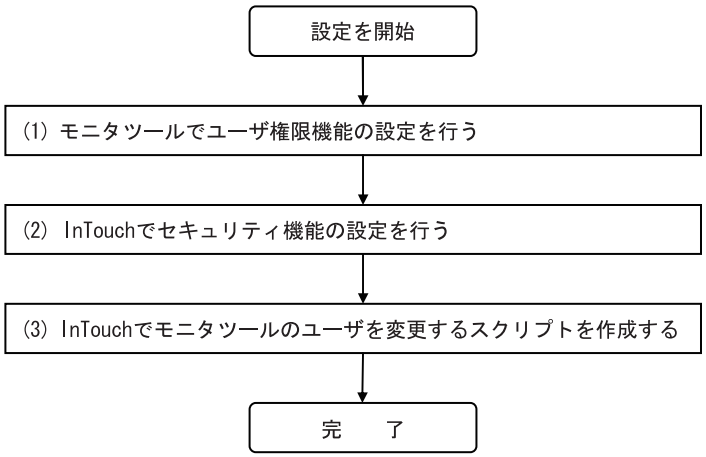
付4.1　モニタツールとInTouchのセキュリティを使用するための動作環境

モニタツールとInTouchのセキュリティを使用するための動作環境を以下に示します。

アプリケーション	バージョン
PX Developer	Version 1.29F以降品

付4.2　モニタツールとInTouchのセキュリティを使用するための設定手順

モニタツールのユーザ権限とInTouchのセキュリティ機能を使用するための設定手順を以下に示します。



(1) モニタツールでユーザ権限機能の設定を行う

モニタツールで，以下の設定を行います。
詳細については，「PX Developerオペレーティングマニュアル（モニタツール編）」を参照してください。

① ユーザ権限設定
ユーザに適用するユーザ権限ごとの操作制限を設定します。

② ユーザ設定
モニタツールを操作するユーザのユーザ名，パスワード，権限を設定します。

(2) InTouchでセキュリティ機能の設定を行う

InTouchで，以下の設定を行います。
詳細については，InTouchのマニュアルを参照してください。

① ユーザ設定

WindowMakerのメニューの[システム]→[セキュリティ]→[ユーザの設定]からInTouchにログオンするユーザのユーザ名，パスワード，アクセスレベルを設定します。

＜モニタツールとInTouchのユーザの設定例＞

モニタツールのユーザ権限（初期設定）とInTouchのユーザのアクセスレベルは，以下のように操作権限の高⇔低があります。

モニタツールのユーザ設定（初期設定）	InTouchのユーザのアクセスレベル	操作権限
エンジニア	9999	高
オペレータ4		
オペレータ3		
オペレータ2		
オペレータ1		
ロック	0	低

そのため，モニタツールのユーザ権限とInTouchのユーザのアクセスレベルを合わせる必要があります。
その設定例を以下に示します。

モニタツールのユーザ設定		InTouchのユーザ設定	
ユーザ名	ユーザ権限	ユーザ名	アクセスレベル
admin	エンジニア	admin	9999
User04	オペレータ4	User04	8000
User03	オペレータ3	User03	6000
User02	オペレータ2	User02	4000
User01	オペレータ1	User01	2000
－	ロック	None	0

付 - 7

② 計装タグへのセキュリティ設定

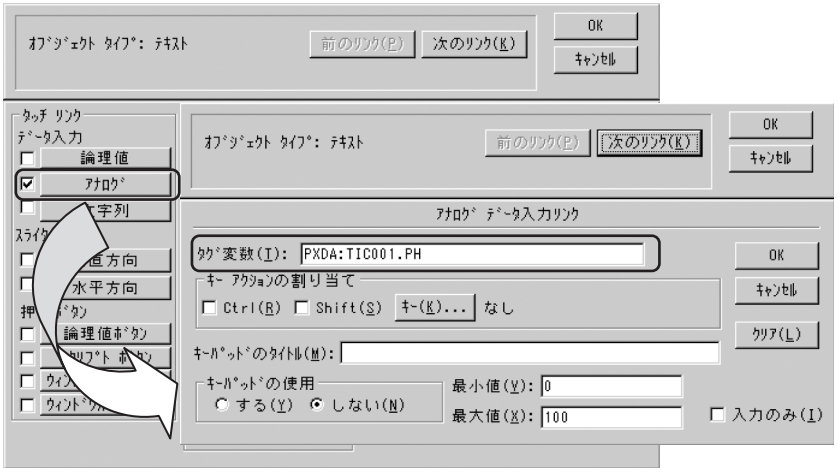
計装タグに対してデータ入力や値の表示を行う場合のセキュリティとして，「タッチアクション無効化」または「表示オフ／オン」のアニメーションリンクを組み合わせて設定します。その場合，条件式に$AccessLevelシステム タグ変数を使用することで，ログオンしているユーザに応じてオブジェクトのタッチ機能の有効／無効や表示／非表示を制御することができます。

例） 計装タグTIC001のPV上限警報値である“PXDA:TIC001.PH”にタッチアクション（データ入力）を行う場合のセキュリティ設定

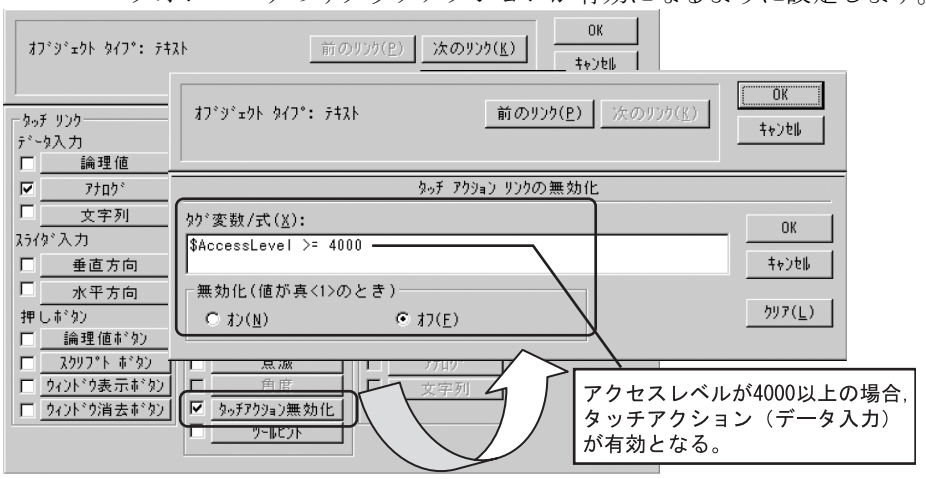
計装タグ“PXDA:TIC001.PH”のデータ入力は，モニタツールにてオペレータ2より高い操作権限が必要となります。したがって，InTouch側でもアクセスレベル4000以上のログオンユーザのみタッチアクション（データ入力）が行えるよう設定する手順を以下に示します。

1) 数値を表示するテキストオブジェクトをダブルクリック，または右クリックのコンテキストメニューから[アニメーションリンク]を選択します。

2) [タッチリンク]-[データ入力]-[アナログ]に，
タグ変数“PXDA:TIC001.PH”を設定します。



3) [その他]-[タッチアクション無効化]に，アクセスレベルが4000以上のログオンユーザのみタッチアクションが有効になるように設定します。



付 - 8

(3) InTouchでモニタツールのユーザを変更するスクリプトを作成する

InTouchのログオンユーザ変更時に，自動でモニタツールのユーザを変更するよう，以下のようなスクリプトを作成します。（モニタツールのモード変更は，MonCtrlコマンドを実行します。なお，ファイルパスは，PX Developerのインストール先フォルダが“C:¥MELSEC”の場合を例とします。）

① クイック関数 スクリプト

関数名　　：PXChangeMode

スクリプト：

```
{ユーザが"User01"の場合}
IF $Operator == "User01" THEN
    StartApp "C:¥MELSEC¥Fbdq¥MonCtrl.exe /changemode /u User01 /p User01";
ELSE
{ユーザが"User02"の場合}
IF $Operator == "User02" THEN
    StartApp "C:¥MELSEC¥Fbdq¥MonCtrl.exe /changemode /u User02 /p User02";
ELSE
{ユーザが"User03"の場合}
IF $Operator == "User03" THEN
    StartApp "C:¥MELSEC¥Fbdq¥MonCtrl.exe /changemode /u User03 /p User03";
ELSE
{ユーザが"User04"の場合}
IF $Operator == "User04" THEN
    StartApp "C:¥MELSEC¥Fbdq¥MonCtrl.exe /changemode /u User04 /p User04";
ELSE
{ユーザが"admin"の場合}
IF $Operator == "admin" THEN
    StartApp "C:¥MELSEC¥Fbdq¥MonCtrl.exe /changemode /u admin /p admin";
ELSE
    StartApp "C:¥MELSEC¥Fbdq¥MonCtrl.exe /changemode /Lock";
ENDIF;ENDIF;ENDIF;ENDIF;ENDIF;

CurrentUser = $Operator;
```

関数・変数説明：

StartApp	Windowsアプリケーションを起動
$Operator	システム タグ変数 データ タイプ：文字列 説明　　：ログオンしているユーザのログオン名を格納
CurrentUser	ローカル タグ変数 タグ タイプ　：メモリ メッセージ型 説明　　：カレントユーザを格納

付 - 9

② アプリケーション スクリプト
実行条件　：起動時
スクリプト：

```
CALL PXChangeMode();
```

③ 条件 スクリプト
条件　　：CurrentUser <> $Operator
実行条件　：Trueの時
スクリプト：

```
CALL PXChangeMode();
```

Point

MonCtrlコマンドの引数に指定するユーザ名とパスワードは，モニタツールのユーザ設定に合わせてください。

付4.3　モニタツールとInTouchのセキュリティを連携させて監視操作する手順

モニタツールとInTouchのセキュリティを連携させて監視する場合，以下の手順に従い監視を行います。

① モニタツールを起動します。
② InTouch WindowViewerを起動します。
③ InTouch側にて，ログオンユーザを変更します。
（モニタツールのユーザは，付4.2(3)③の条件スクリプトにより変更されます。）

Point

InTouch側のログオンユーザの変更によりモニタツールからエラーメッセージが表示される場合は，一度InTouchにて権限のないユーザ（“None”）でログオンし，原因の解決後に再度操作ユーザにてログオンしてください。

付 - 10

付5　旧バージョンより追加／変更になった機能

バージョンアップに伴い，追加／変更された機能を次に示します。

対応バージョン*1	追加／変更された機能	追加／変更内容	参照
Version 1.31H	対応OS	Windows® 7に対応した。	2.3節

＊1：対応バージョンは製品情報で確認できます。詳細については，「PX Developer Version 1オペレーティングマニュアル（プログラミングツール編またはモニタツール編）」を参照してください。

付 - 11

索　引

【A】
ActiveXコントロールのインストール····· 3-11

【D】
DDC····· A-10
DDE····· A-10

【F】
FB····· A-10

【I】
I/Oサーバ····· A-10
InTouch····· A-10
InTouchからの操作で，モニタツールに対して連動する動作····· 3-15
InTouchでPX Developerの計装タグ名を用いて通信するための操作····· 3-2
InTouchで監視するまでの操作手順····· 3-1
InTouchのアラームビューコントロールにPX Developerのアラーム情報を表示するための操作····· 3-14
InTouchでPX Developerのフェースプレートを利用するための操作····· 3-10

【M】
MV····· A-10

【P】
PV····· A-10
PX Developer····· A-10
PX Developerのタグ名参照機能····· 1-1,3

【S】
SV····· A-10

【W】
WindowMaker····· A-10
WindowViewer····· A-10

【あ】
アクセス名の登録····· 3-3
アラームクエリーの設定····· 3-18
アラーム項目対応表····· 付-3
アラーム統合機能····· 1-1,4
アラーム統合機能に関するトラブルシューティング····· 4-2
アラームの監視画面操作····· 3-15
アラームビューコントロールの貼付け···· 3-17

【い】
イベント項目対応表····· 付-4
イベントの監視画面操作····· 3-16
インストールの確認····· 3-12

【け】
計装タグ名での通信機能····· 1-1,2
計装タグ名での通信機能に関するトラブルシューティング····· 4-1

【し】
システム構成····· 2-1
主要なタグ項目····· 付-1

【そ】
ソフトウェア構成····· 2-2

【た】
タグ····· A-10
タグFB····· A-10
タグソースの定義····· 3-4
タグソースの定義画面の仕様····· 3-7
タグデータ····· A-10
タグデータ項目····· A-10
タグ変数の作成・タグソースの設定····· 3-4
タグ名参照機能におけるドットフィールド名の詳細····· 付-1
タグ名の参照・選択····· 3-8

【と】
動作環境····· 2-2
トラブルシューティング····· 4-1

【は】
パソコン····· A-10

【ふ】
フェースプレート····· A-10
フェースプレートコントロールの組込み··· 1-1

索引 - 1

フェースプレートコントロールの組込みに関する
トラブルシューティング····· 4-1
フェースプレートコントロールの貼付け・設定
····· 3-13
プログラミングツール····· A-10

【も】

モニタツール····· A-10
モニタツールからの操作で，InTouchのアラームに
対して連動する動作····· 3-15
モニタツールとInTouchの項目対応表····· 付-3
モニタツールとInTouchのセキュリティ··· 付-5

【わ】

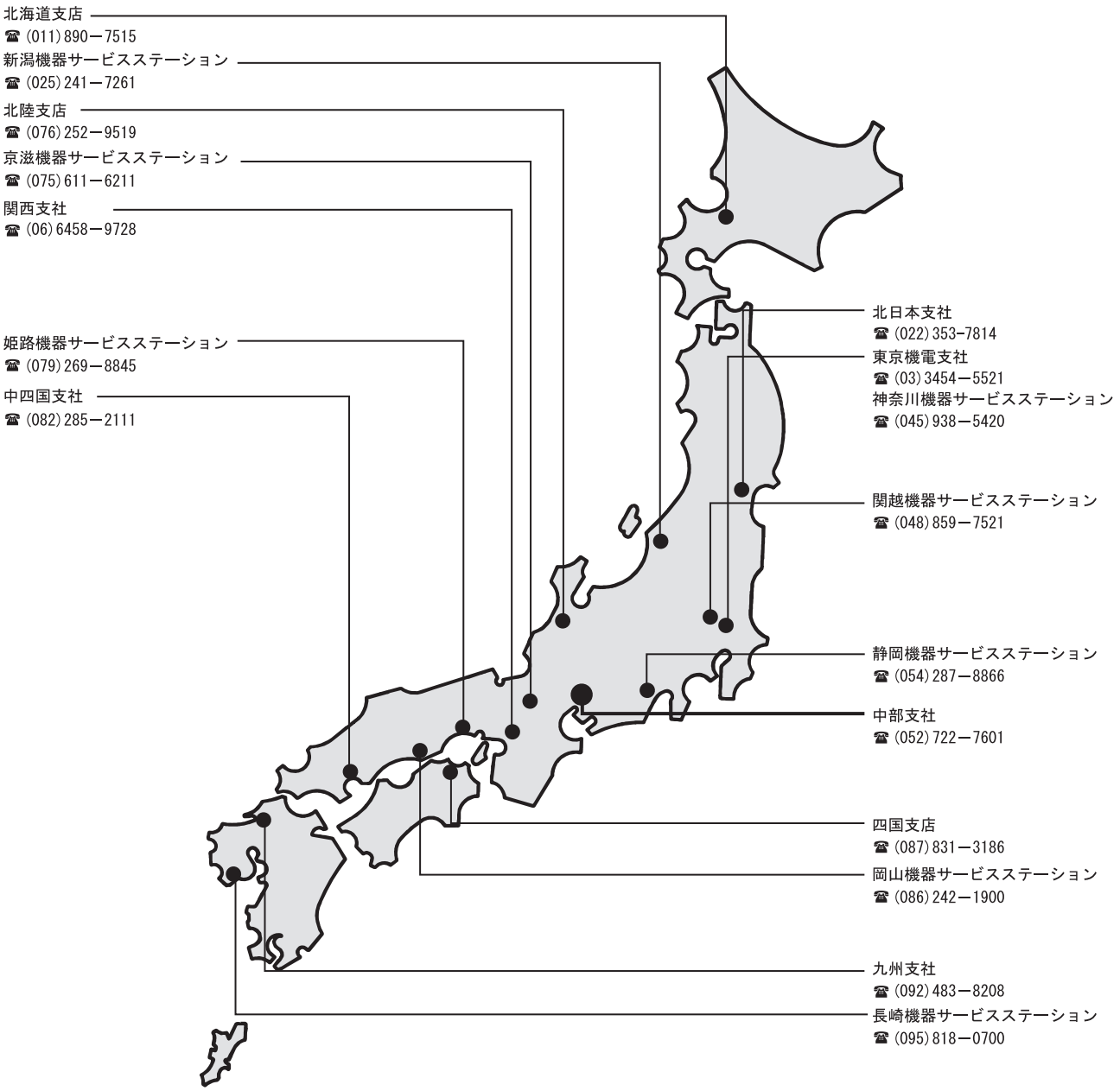
割付情報データベース····· A-10

索引 - 2

メ　モ

メ　モ

サービスネットワーク（三菱電機システムサービス株式会社）



Microsoft, Windows, Windows Vistaは, 米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Wonderware, InTouch, WindowMaker, WindowViewerはSchneider Electricおよびその関連会社の商標または登録商標です。
その他, 本文中における会社名, 商品名は, 各社の商標または登録商標です。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関越支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
静岡支店	〒422-8067	静岡市駿河区南町14-25 (エスパティオビル)	(054) 202-5630
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA　検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

三菱電機FA機器電話, FAX技術相談

●電話技術相談窓口　受付時間※1　月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種			電話番号
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/L/QnA/Aシーケンサー般		052-711-5111
	MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般		052-725-2271※2
	ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット		052-712-2578
	アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット		052-712-2579
	MELSOFT シーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037
	MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT iQ Works (Navigator)	052-799-3591※3
	iQ Sensor Solution		
	MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370※3
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	
	C言語コントローラ		
	MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット		052-799-3592※3
	MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ)	052-712-2830※2※3
		プロセスCPU (プロセス/二重化) (MELSEC iQ-Rシリーズ)	
		MELSOFT PXシリーズ	
	MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ)	052-712-3079※2※3
		安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QE8□シリーズ	052-719-4557※2※3
センサ MELSENSOR		レーザ変位センサ	052-799-9495※3
		ビジョンセンサ	
表示器		GOT-F900シリーズ	052-725-2271※2
		GOT2000/1000/A900シリーズなど	052-712-2417
		MELSOFT GTシリーズ	

対象機種		電話番号
サーボ/位置決めユニット/シンプルモーションユニット/モーションコントローラ/センシングユニット/組込み型サーボシステムコントローラ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607
	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/Aシリーズ)	
	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)	
	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/Aシリーズ)	
	センシングユニット (MR-MTシリーズ)	
	シンプルモーションボード	
	C言語コントローラ インタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジションボード	
	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ	
センサレスサーボ	FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182
三相モータ	三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900※3※4
ロボット	MELFAシリーズ	052-721-0100
電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ		052-712-5430※5
データ収集アナライザ	MELQIC IU1/IU2シリーズ	052-712-5440※5
低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170
	US-Nシリーズ	
低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559
電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556
省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/B/NETなど	052-719-4557※2※3
小容量UPS (5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※3※6

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く　※2：金曜は17:00まで　※3：土曜・日曜・祝日を除く　※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く)　※6：月曜～金曜の9:00～17:00

●FAX技術相談窓口　受付時間　月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※7
低圧開閉器	0574-61-1955

対象機種	FAX番号
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
※7：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

本マニュアルは，輸出する場合，経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

SH(名)-080747-O(1510)KWIX
形名:　SW1D5C-FBDQ-O-SCDA-J
形名コード: 13JV96

2015年10月作成
標準価格　1,500円

本マニュアルは，お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。
この標準価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が付加されますのでご承知置き願います。